



阿倍野教育懇談会、記事裏面

大阪母親大会

- 講演：伊藤千尋さん
- 日時：6月12日(日)13時
- 場所：クレオ大阪中央

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法円坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/ FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



3年ぶりの大会
12人が発言し
取り組みを交流



子どもと教育を守る 組合員増 平和を守れ！選挙へ行こう

大阪市教 第34回 定期大会

2022年参議院選挙 市民連合の政策要望書

- 1 平和国家路線の堅持と発展
立憲主義。非核三原則堅持。憲法9条改悪、集団的自衛権行使反対。
- 2 暮らしと命を守る政策拡充
医療再建、金融所得課税。社会保障、社会福祉拡充。暮らしを守る。
- 3 気候変動対策とエネルギー転換
気候変動と環境保全の対策。原発、化石燃料に頼らない。脱炭素社会の早期実現。
- 4 平等と人権保障の徹底
男女平等。選択的夫婦別姓。LGBTQ、外国人、障がい者差別の廃絶。

第34回大阪市教定期大会が5月21日に行われ、22年度の「とりくみ」が賛成多数で可決されました。3年ぶりに行われ、支部や専門部から12人が討論に参加し、大いに盛り上がりました。

大会挨拶で宮城委員長は、ウクライナでのロシアによる侵略と戦争、人権侵害について、維新の会による核共有や憲法9条改悪の動きは、自民党以上の戦争をおおる大軍拡政党だと述べ、侵略戦争は許されないと強く訴えました。

教育破壊、突然の休校やオンライン授業など、子どもの学ぶ機会を不当に奪った維新政治を許してはいけない、夏の参議院選挙で大阪市をゆだねず、教育自治体破壊を許さないたたかいに取り組みもうと呼びかけました。

覚道書記長は、4・5月で10人の組合員加入について、新歓行事、教採突破講座、パワハラ問題の取り



組みを通した組織拡大について述べ、希望と信頼の大阪市教だからこそ、拡大につながったと語り、分会に目を向けながら引き続き、つながりを広めていこうと述べました。

討論で女性部は、27回となったママ友会議、総会など、子育てしながら働きや

パワハラ相談で加入 拡大の取組広げたい

長期休暇の児童の課題作成や、電話番号、持久走で児童とコースを走ることを強要された青年養護教職員の悩みの相談で組合員を増やした養護教職員部。少数職種に悩みに寄り添い取り組みを進めたといっていました。

年間数回の研究授業などで青年教員は多忙なか東南支部



では、「おつかレインポー」の会を開催しています。参加者は、「一人じゃない、黙ってたらあかん、勉強しなあかん」という声をあげ、今年度から執行委員になりました。

今年度他市から新加入の養護教職員は、調理員は教職員の一人だと思ってくれまじやうてきたが、民間委託によって分断されていると感じ、同じ組合で、栄養教諭として相談できる人がいることが嬉しい、今年度は、食育に専念して頑張っている、引き続き、組合のみならず一緒に頑張っていきたいと語りました。



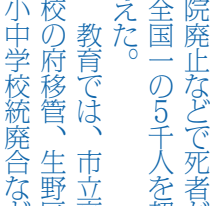
特別支援「学級」と「教室」では大きな違いがある。学級は、定数があり、児童が増えるとも必ず学級が増えるが、「教室」となると児童数に関わらず2教室だけとなる。教育条件改善の運動を広げていきたいと、障教部が発言しました。

港支部では、この間、パワハラの相談に数件のって、組合加入もあった。ハラメントに立ち向かうことが大切。大阪市の教組員だからこそできること。

共同学校事務室は「人材育成」として、欠けているが、実際は、欠



青年は、頑張っていることや、困っていることを聞いてくれる人が必要。新歓フェスタや講座「先輩の技」で、組合員が増えていることがとても嬉しい。つながりを広げるために、原水禁大会や夏の情勢学習会など、学びながら拡大の取組みを広げていきたいと青年部が発言しました。



討論の最後に城北支部の代議員が発言しました。くらし破壊の維新の会は、コロナ禍で「大阪を医療崩壊から守った」と言っているが、PCR検査抑制、保健所削減、住吉市民病院廃止などで死者が全国一の5千人を超えた。

教育では、市立高校の府移管、生野区小中学校統廃合など

参議院選挙 維新の暴走許さない

で、子どもたちの学びに大混乱が起きています。テスト漬けの教育で不登校も増加している。

カジノに税金を使う維新府市政になっから、教職員の給料が10年間で、平均120万円減っている。教育を守るためにも、7月の参議院選挙に必ず行き、維新の暴走を止めよう。

市労組連は5月25日に第33回定期大会を開催し、22年度運動方針を決定し、役員を選出しました。

宮城委員長は、大阪府のコロナ死者が5千人を超え、全国一となったこと、「限りある医療資源」を理由にPCR検査要求を拒否してきた



市労組連大会
11月25日

が、コロナ対策費374億円を残し、国からのコロナ地方創生交付金を14.5億円余らせて大阪市22年度予算で財政調整基金を大きく増やしたことを厳しく批判。「憲法に自衛隊維新が改正案『9条の2』新設 参院選挙点化狙う」と報じられているように、維新の会は自民党以上の「戦争をあおる大軍拡政党」だと指摘しました。

出生サポート休暇の新設、非常勤職員の出産・産後休暇、配偶者分べん休暇、育児参加休暇の有給化実現などを確信に、ケア労働者処遇

など、賃金・労働条件の改善の取組みを強める方針が提起されました。

討論では、組合事務所団体交渉拒否問題で、松井市長の「謝罪」を勝ち取った(市労組)、高校府移管で教育条件が低下(市高教)、通勤手当制度・再任用の手当等改善、子どもの貧困対策、統廃合ではなく少人数学級の実現(大阪市教)の発言がありました。

仲間が増えた！

10人を超える仲間が増えた 交流・学習・権利擁護の組合信頼

今年度、10人を超える仲間を迎えています。加入のきっかけは、○転勤先に知り合いの組合員がおり、内示の日に支部の役員からも歓迎された、○支部の学習会に参加し、もっと学習したいという思いが強くなった、○途方に暮れていると、「そんな組合に相談したらいいねん」と言われて相談した、○人間関係で困っている同僚を組合員が誘って一緒に相談した、○少数職種で他の学校の様子がわからず、交流会に参加して問題を認識することができた、などさまざまです。交流・学習・権利擁護の組合への信頼が高まっています。つながることが第一歩！あなたの職場でまず1人、組合員を増やしましょう！

市長選挙で勝利するため、取組みを強化することを確信しました。

が、コロナ対策費374億円を残し、国からのコロナ地方創生交付金を14.5億円余らせて大阪市22年度予算で財政調整基金を大きく増やしたことを厳しく批判。「憲法に自衛隊維新が改正案『9条の2』新設 参院選挙点化狙う」と報じられているように、維新の会は自民党以上の「戦争をあおる大軍拡政党」だと指摘しました。

出生サポート休暇の新設、非常勤職員の出産・産後休暇、配偶者分べん休暇、育児参加休暇の有給化実現などを確信に、ケア労働者処遇

が、コロナ対策費374億円を残し、国からのコロナ地方創生交付金を14.5億円余らせて大阪市22年度予算で財政調整基金を大きく増やしたことを厳しく批判。「憲法に自衛隊維新が改正案『9条の2』新設 参院選挙点化狙う」と報じられているように、維新の会は自民党以上の「戦争をあおる大軍拡政党」だと指摘しました。

出生サポート休暇の新設、非常勤職員の出産・産後休暇、配偶者分べん休暇、育児参加休暇の有給化実現などを確信に、ケア労働者処遇

教え子を再び戦場に送るな！